

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、12～18℃台を示し、やや低めからかなり低めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり31トンの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり24トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり64kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり778kgの水揚げで、前週の41%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり27kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり158kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり3kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり966kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり64kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり433kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり262kgの水揚げで、前週の1.8倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（4/10～4/14の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、切上中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬沖～山陰沖で僅か水揚げあり。

鳥取県西部（沖合船）では、1日延4隻、総計34箱、1航海最高17箱、平均8.5箱、スルメイカを漁獲、魚体は（20～40入）。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>